

コロンビア政治情勢（2月分）

1 概要

【内政】

- 7日 E L Nによる武装ストライキ実行宣言
- 8日 F A R Cが選挙活動の中断を決定
- 9日 サントス大統領がベネズエラ移民への新対策を発表
- 10日 国家審議会がM I R Aに上院3議席の付与を命令
- 15日 自由党及びソモス党が大統領候補及び副大統領候補を擁立
- 16日 E L Nによる石油パイプラインへの攻撃
- 19日 最高裁判所がアンティオキア県ラ・グランハ村で発生した虐殺事件に係る容疑でウリベ前大統領に対する捜査を命令
- 25日 E L Nが一方的一時停戦を表明
- 大統領選挙世論調査

【外交】

- 6日 ティラソン米国務長官の当地訪問
- 7日 ベネズエラ人に対する特別滞在許可（P E P）の追加発行
- 8日 フェドートフ国連薬物・犯罪事務所（U N O D C）事務局長の当地訪問
- 13日 ステンストロム・スウェーデン産業・イノベーション省副大臣兼E U担当長官の当地訪問
- 13日 オルギン外相のペルー訪問
- 15日 第6回コロンビア・エクアドル合同会議
- 20日 アルファノ・イタリア外相の当国訪問
- 20～21日 オルギン外相のブラジル訪問
- 23日 モラレス・グアテマラ大統領の当国公式訪問
- 27日 第4回コロンビア・ペルー合同閣議

2 本文

【内政】

1 E L Nによる武装ストライキ実行宣言

7日、E L N（国民解放軍）は、国家による立て続くテロ行為及び社会リーダーに対する迫害と社会抗議行動の起訴、そしてエクアドル・キトでの第5回和平交渉の再開に対する政府の拒否を受けて、10～13日に全国規模の武装ストライキを実施する声明を发出了。

2 FARCが選挙活動の中断を決定

8日、FARC党から大統領選挙に立候補を予定しているロンドーニョ（通称「ティモチェンコ」）元FARC最高司令官は、バジェ・デル・カウカ県とキンディオ県での選挙活動中に、地元住民の強い抗議活動を受け、中断を余儀なくされた。上記の理由により、同日、FARC党は選挙活動の中断を発表するとともに、民主中道党が裏で地元住民の抗議活動を扇動しているとして非難した。23日、FARC党はメタ県メセタス市で選挙活動を再開した。

3 サントス大統領がベネズエラ移民への新対策を発表

9日、サントス大統領は、ベネズエラ国境に近いノルテ・デ・サンタンデル県ククタ市において、ベネズエラからの難民流入に対応するための新しい国境検査強化対策を発表した。これにより、国境地域の往来のために発行されていた国境通行証（TMF）の発行が中止となり、TMFを有していない者はパスポートの提示が求められる。また、サントス大統領は軍人2,120人を含む警備要員3,000人を国境に配置する方針を明らかにした。

4 国家審議会がMIRAに上院3議席の付与を命令

10日、4年前の国会議員選挙結果が不当であるとして、MIRAが不服申立てを行っている件で、国家審議会は、全国選挙評議会に対しMIRAに上院の3議席を付与するよう命じた。MIRAは、ペンのインクが速乾性でないため、投票用紙を折り曲げた際に反対側に写り、二重投票と見なされ無効になった投票用紙がMIRAに対する投票であったことを主張していた。これにより、自由党、民主中道党及び市民の選択党がそれぞれ1議席失った。

5 自由党及びソモス党が大統領候補及び副大統領候補を擁立

15日、自由党は大統領候補にデ・ラ・カジェ（Humberto DE LA CALLE）元副大統領、副大統領候補に「独立社会同盟（ASI）」から大統領選挙に立候補予定であったロペス（Clara LOPEZ）前労働大臣を擁立した。また、ソモス党は大統領候補にモラレス（Viviane MORALES）上院議員、副大統領候補にレイバ（Jorge LEYVA）ラ・サバナ大学教授を擁立した。

6 ELNによる石油パイプラインへの攻撃

16日、ELNはノルテ・デ・サンタンデル県に位置する石油パイプライン「Cano Limon-Covenas」を攻撃した。この石油パイプラインへの攻撃により、ELNのテロ行為は今年で12回目となった。

7 最高裁判所がアンティオキア県ラ・グランハ村で発生した虐殺事件に係る容疑でウリベ前大統領に対する捜査を命令

19日、最高裁判所は1996年にアンティオキア県ラ・グランハ村で発生した虐殺事件での証言に虚偽があるとして、ウリベ前大統領に対する捜査を命令した。ウリベ前大統領（当館注：元アンティオキア県知事（1995～1997年））には同事件に対する職務怠慢の容疑が掛けられている。

8 E L Nが一方的一時停戦を表明

25日、E L Nは3月11日に実施される国会選挙を前に、有権者への尊重の証として、3月9～13日に一方的一時停戦を行う旨表明した。また、同表明でE L Nは和平交渉の再開を提案した。サントス大統領は一定の評価を示したが、和平交渉の再開決定は時期尚早とコメントした。

9 大統領選挙世論調査

(1) P o l i m e t r i c a社：

(調査日：2月23～26日，対象人数：2960，誤差：±4.5%，信頼度：95%)

(括弧内は前回数値)

ペトロ前ボゴタ市長（思いやりのコロンビア） 22%（16%）

ドウケ上院議員（民主中道党） 22%（8%）

ファハルド元アンティオキア県知事（市民の約束） 11%（19%）

バルガス前副大統領（#バルガス・ジェラスのほうがいいね） 8%（10%）

ラミレス元国防大臣（正直で強いコロンビアのために マルタ・ルシア） 6%（5%）

デ・ラ・カジェ元副大統領（自由党） 4%（前回5%）

(2) G u a r u m o社：

(調査日：2月24～3月1日，対象人数：3425，誤差：±2.7%，信頼度：95%)

ドウケ上院議員（民主中道党） 23.6%

ペトロ前ボゴタ市長（思いやりのコロンビア） 23.1%

ファハルド元アンティオキア県知事（市民の約束） 8.1%

バルガス前副大統領（#バルガス・ジェラスのほうがいいね） 6.3%

ラミレス元国防大臣（正直で強いコロンビアのために マルタ・ルシア） 5.7%

デ・ラ・カジェ元副大統領（自由党） 4.1%

【外交】

1 ティラソン米国務長官の当地訪問

6日、ティラソン米国務長官はコロンビアを訪問し、サントス大統領と会談した。同会談では、治安対策、薬物問題、ベネズエラ情勢、コロンビアのOECD加盟審査、両国間の通商関係、北朝鮮問題等について議論が行われた。

2 ベネズエラ人に対する特別滞在許可（PEP）の追加発行

7日、政府は、2月2日までにコロンビアに旅券で入国し、入国印を受けたベネズエラ国籍を所持する者に対して特別滞在許可（PEP）を追加発行する旨発表した。PEPを所持するベネズエラ人にはコロンビア国内での就労、就学及びその他の合法的な活動が認められている。他方、マルティネス検事総長はベネズエラ人の犯罪が増加しているとして、懸念表明の書簡を外務省及び移民局に送付した。2017年8月以降の犯罪増加率は22.8%となっているが、ベネズエラからの移民は身分を証明できる書類を所持していないことが多いため、身柄の拘束や刑事手続きに困難が生じている。

3 フェドートフ国連薬物・犯罪事務所（UNODC）事務局長の当地訪問

8日、フェドートフ国連薬物・犯罪事務所（UNODC）事務局長がコロンビアを訪問し、サントス大統領及びオルギン外相と会談した。同会談では、ポストコンフリクト、安全保障及び人権といったテーマが議題に挙げられた。9日には代替作物開発プログラムの支援を受けているカカオ農園を視察し、同プログラムの裨益者及び違法作物代替のための国家統合プログラムのリーダーらと会合した。同訪問の最後にはアルノー・コロンビア・ミッション担当国連事務総長特別代表（SRSG）と会合した。

4 ステンストロム・スウェーデン産業・イノベーション省副大臣兼EU担当長官の当地訪問

13日、ステンストロム・スウェーデン産業・イノベーション省副大臣兼EU担当長官はコロンビアを訪問し、オルギン外相と会談した。同会談では、通商関係の強化、投資及び観光の促進などが議論された。

5 オルギン外相のペルー訪問

13日、オルギン外相は、27日にコロンビア・カルタヘナで実施される第4回コロンビア・ペルー合同閣議の調整のため、アルホビン・ペルー外相と会談した。また、オルギン外相はリマ・グループ会合にも出席した。さらに両国外相は、4月13～14日にペルー・リマで開催予定の第8回米州首脳会議に関し、同会議へのベネズエラの出席を再考するとのペルー政府の意向を支持する声明を発出した。

6 第6回コロンビア・エクアドル合同会議

15日、当国リサルダ県ペレイラ市でサントス・コロンビア大統領及びモレノ・エクアドル大統領の首脳会談及び第6回コロンビア・エクアドル合同会議が開催された。同会議では、第5回共同声明への80以上の追加事項を加えた第6回共同声明及び本年の行動計画に係る合意が達成された。

7 アルファノ・イタリア外相の当国訪問

20日、アルファノ・イタリア外相は当国を訪問し、オルギン外相と会談した。同会談で、オルギン外相はポストコンフリクト期におけるイタリア政府の援助及びEUの資金援助に感謝した。また、エネルギー資源の持続的開発を目的としたMOUがイタリア経済開発省と鉱山・エネルギー省間で署名された。

8 オルギン外相のブラジル訪問

20～21日、オルギン外相はブラジルを訪問し、ヌネス・ブラジル外相と会談した。また、同訪問に同行したビジェガス国防相は、ブラジル国防省と会談し、両国の国防省間で対人地雷除去支援及びベネズエラ移民の情報交換に関する協定が締結された。

9 モラレス・グアテマラ大統領の当国公式訪問

23日、モラレス・グアテマラ大統領は当国を公式訪問し、サントス大統領と会談した。同会談では、通商関係、安全保障、地域及び多国間関係について議論された。また、二国間FTA締結へ向けた取組を行うことが確認された。

10 第4回コロンビア・ペルー合同閣議

27日、ボリバール県カルタヘナ市で第4回コロンビア・ペルー合同閣議が開催された。同合同閣議では、主に国境地帯での共通課題への取組に向け、両国の相互補完性を軸に二国間協力の強化が模索された。また、今次閣議では11の文書に署名がなされ、カルタヘナ共同声明が発出された。